

# 平成27年度 学校法人 三幸学園 福岡医療秘書福祉専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者 : 副校長 會田 隆太

学校関係者評価報告責任者 : 学校関係者評価委員会委員長 糸山 龍介

## 1. 学校の教育目標

三幸学園は、昭和60年の開校以来約30年にわたり、『技能と心の調和』を教育理念に掲げ、教育を展開してきた。ここでは、社会への有益な職業人を数多く輩出することを目標に、“有益な職業人とは、専門的知識・専門的技術を十分持ちながら、常に変遷する社会に対し柔軟に対応するため日々研究・研鑽を続け、職業人としての使命感をしっかりと確立した人物”と定義し、心豊かな人間性を育む教育に注力している。

この基本理念は、教職員に対しては、教職員手帳、「三幸学園の原点 あきらめない教育」に明記し配布しているほか、全教職員が一同に集う「ビジョンミーティング」、「サマーセミナー」においては、学園長及び理事長からの訓示の中で繰り返し唱え、各姉妹校で行われる年3回の全体会議にて共有化を図っているものである。また、学生に対しては、「入学式」や「スタートアッププログラム」において、校長や教職員からの言葉として示すとともに、本校独自のカリキュラム「成功の法則」の授業で使用する「夢のスケッチブック」に記載し周知を図っている。このほか、受験生、高等学校、保護者等に対しては、オープンキャンパス、高校訪問、保護者説明会などを通じて伝え、また、パンフレットに明記することにより学内外の周知に努めている。

## 2. 重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ・人間性を高める教育の実践

「相手のこうして欲しいを理解し、考え動ける人材」を育成することを、目指す人材育成方針とし、単に知識や技術を研究するに留まらず、人間性を高める教育を併せて展開することにより、真に社会に役立つ人材を輩出することができると考えている

### ・挨拶指導、清掃指導の強化

コミュニケーションの基本である挨拶についてはTP0に応じて実践できる様にきめ細かい指導を実践している。また、清掃指導についても自ら率先して実践することができる様に日々の取り組みを積み重ね、習慣化できる様に指導強化していく。

### ・産学連携の促進

ボランティア、短期／長期インターンシップの機会提供を積極的に行い、公開講座や学校関係者評価委員会等を通じたアドバイスを取り入れながら業界・地域密着型の学校運営を強化していく。

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1). 教育理念・目標

【評価項目】	委員会評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	5
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	5
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

#### <現状および今後の方針>

- ・継続して『教育理念、人材育成像』を内外に浸透していく事で学校の教育特徴を創り上げていく。
- ・HPや掲示物や教員によるたび重なる積極的な外部、保護者への目に留まる掲載と呼びかけを継続する。
- ・業界の動向やニーズを実習アンケートで得たデータを元に分析し、教務方針・目標に取り入れた。
- ・新入生に対しては入学前にオリエンテーション／保護者会を開催し、理念および教育方針の浸透に向けた積極的な働きかけを実施している。

#### <特記事項>

- ・体系化された教育理念、ビジョン、ミッション、人材育成方針を教務指導目標に取り入れ、具体的な指導を計画し、取り組んでいる。
- ・学生への理念浸透ポスターをリニューアルし、全教室へ掲示。新入生への研修時に浸透させるための内容を実施。

#### (学校関係者評価委員会コメント)

- ・今年度は 3 名採用しており、学校の教員からも事前に評価が高い学生を採用させて頂いた。昨年度よりも意識が高くやる気も見られ、他職員からも学校の方針が見える行動が取れている。言ったことをすぐに実践する力が見られる。
- ・実習に段階があるので、実習生の前段階での評価基準等を参考に受け入れができるとさらにより実習生の指導ができる。個人情報等の問題がなければ実習生の情報を知りたい。
- ・実習生の評価は割と高い為、受け入れしやすい。そのため実習は人材発掘の機会になっており、実習生で良い評価の方は採用したいと考えている。(実際、今年度は考えている。)最初の自己紹介の挨拶は様々な職員が見ており、評価をしている。
- ・実際に実習生を受け入れている中で感じていることは、さまざまな方との経験で人との関わりは培って行けるもので経験が重要。相手のこうして欲しいは、経験を積めるような学校での活動で増やしていけると良い。
- ・短期間で施設に実習に来た人はコミュニケーションの量で気づけない。長く見ること・長く付き合うことで気づけるようになるため、その大切さに実習生が気づいて欲しいと思う。
- ・学生時代は、周りの人を見て行動をしていた。先生とのコミュニケーションも担任が変わることで学んだ。病院では、接遇面をととても指導受けている。学生のうちから接遇を身に付けることは重要。実際は資格・検定よりも現場で自ら考え行動がすぐにできる授業の内容が大切だと感じた。※ロープレなど必要
- ・挨拶は清掃スタッフも大切だと思って行動している。また汗だくで清掃している姿を見せない配慮や相手を

思いやる性格を見抜き接することは大切。学生の行動で校舎の使い方を通して人として女性としてという部分は報告し指導して頂く機会にして欲しい。(汚物の始末など)

## (2). 学校運営

【評価項目】	委員会評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	5
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	5
人事、給与に関する制度は整備されているか	5
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	5
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5

### <現状および今後の方針>

- ・継続的に健全且つ安定的な学校運営を行うと共に、各教育取り組みや活動については積極公開していく。
- ・就業規則(特に勤怠管理)遵守を徹底し、ワークライフバランス・業務の効率化を積極的に推進する。
- ・三幸グループ全体でコンプライアンスDVDを制作し、コンプライアンスやハラスメントに関する意識を高める啓蒙活動を展開している。

### <特記事項>

- ・就業規則、職員行動指針を設定し、年度毎に改訂している。また内容は、職員会議にて共有している。
- ・年3回、全教職員に向けて会議内にて運営方針の浸透と情報共有を心掛け、具体的取り組みを提示している。

### (学校関係者評価委員会コメント)

- ・仕事をしている病院は、規則やコンプライアンスに厳しい現場のため、情報共有や会議がある。医療現場も同じだと感じた。
- ・ご利用者様からご意見を頂くことは以前より多くなっているのではないかと感じる。現在、職員間のマニュアルの作成や対応を徹底中であり、現場でも重要である。

## (3). 教育活動

【評価項目】	委員会評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	5
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	5
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	5

キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	5
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	5
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	5
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	5
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

#### < 現状および今後の方針 >

・医療機関や福祉施設、保育園との産学連携のさらなる強化を図った。具体的な教育機会として27年度初めて学会等への研究機会にも参画し、学内における研究発表を実施した。学校関係者評価委員及び実習等で関連する企業・関係者様のご意見を頂戴しながらさらなる教育の質実向上に努めていく。

#### < 特記事項 >

- ・各実習先様へ依頼している実習アンケートを元に教務指導方針の具体的教育内容を検討する際の材料とし、本校学生の現場における外部評価・授業満足度の向上に努めている。
- ・授業アンケートや教員間の授業見学会を促進し、授業の質の向上に努めている。
- ・教育力／指導力向上の為に、教員向けに研修を実施している。

(平成 28 年 3 月アクティブラーニング勉強会、アンガ-マネジメント基礎講習を実施。継続実施を企画する)

#### (学校関係者評価委員会コメント)

- ・新卒採用が多い。新人指導の中での自己評価が高く課題発見力が弱い印象。悪気はないが課題を見つけられないことが多い。単刀直入に指導することが難しい。
- ・中途採用者の傾向として、自信も多いが不満も多い。そのような方は扱いづらい。新卒者は素直な為、学ぶ意欲があり修正することが可能であり、そのような指導が都度重要である。
- ・実習評価と自己評価をフィードバックをし、今後は前回の実習先からを繋げていけるように改善してはどうか。実習の段階が評価で生かせるように毎回の振り返りや指導をしっかりと生かして欲しい。
- ・実習生と教員の繋がりは医科校の強みだと思う。自己分析からの目標設定やフィードバックそして次の設定とつなげていく。

#### (4). 学修成果

【評価項目】	委員会評価
就職率の向上が図られているか	5
資格取得率の向上が図られているか	5
退学率の低減が図られているか	5
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

#### <現状および今後の方針>

- ・求人や実習先の新規開拓とともに就職先が求める人材像の把握のため教職員の積極的な医療機関、施設、園への訪問を実施。現場での人材ニーズを把握し、それに合う教育を行っていく。
- ・継続して各種教育アンケート(授業・実習・卒業生)を実施し、課題発見と具体的な施策検討を進める。
- ・早期の就職活動を促すこと目的として、就職ガイダンスの時期や方法論を調整していく。

#### <特記事項>

- ・退学率の低減のために、保護者との連携を強め、教員間でも情報共有と連携したサポートを行っている。
- ・平成 27 年度進路決定率：100%
- ・平成 27 年度退学率：4.2%
- ・退学率低減を目的に退学者アンケートを実施し、対応の改善を検討した。また退学者報告書をリニューアルし、報告内容として具体的な対応を明記し、課題発見・改善する。
- ・業界と連携した短期インターンシップの実現により、就職後のミスマッチを無くす（軽減する）取り組みを積極展開していきたい。

### (5). 学生支援

【評価項目】	委員会評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	5
学生相談に関する体制は整備されているか	5
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	5
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	5
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	5
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

#### <現状および今後の方針>

- ・就職業務担当者を増やし、全体指導及び学生個々への支援とサポートのさらなる充実を図った。
- ・高校既卒や社会人の学びのニーズに年々高まっていることから再進学や学びなおしに対応すべく教育体制の整備を推進する。
- ・教務業務担当者を増やし、生活指導や学生個々への教員の指導格差是正と各学科における学校生活内

での生活指導の構築を図る。

#### <特記事項>

・担任が奨学金関連の事務手続きを行い、自クラスの学生の経済状況を把握する。必要であれば面談を実施、生徒本人からの相談窓口が明確化された。

・カウンセラーを配置し、個別の悩みや相談に対応する環境を設定している。

(学校関係者評価委員会コメント)

・介護科は卒業生でも学校に行きやすい為、割と学校へ行く機会も多い。できれば近況報告できる機会があるとありがたい。卒業生の為の技術講習演習などがあると卒業生で仕事から離れた人(主婦)も仕事に復帰しやすい。送付物は卒業生の手元に届く工夫があるとよい。実家に送付されるため工夫が必要。

・同窓会はなかなか開催するとなっても人数が集まらないため、連絡の手段(LINE 等)が必要。

・同窓会は生徒同士がつながっている為、うまく学校の教員が卒業生グループを把握しておくといよい。

#### (6). 教育環境

【評価項目】	委員会評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	5
防災に対する体制は整備されているか	5

#### <現状および今後の方針>

・継続して校舎および設備については保守管理企業様と円滑な連携の上で安心・安全な教育環境の維持向上に努める。

#### <特記事項>

・全教室へ避難経路マップを掲示し、年度初めに確認を行う時間を設定した。

・今後は防災啓蒙・避難マップの配布を検討し、さらなる防災意識を高めていく。

#### (7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	委員会評価
学生募集活動は、適正に行われているか	5
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	5

#### <現状および今後の方針>

・教務(教育成果)と広報(募集活動)の連動を常に意識し、高校生・社会人・留学生等の多様な学びのニーズに応え健全な学校経営の基盤となる学生募集に尽力していく。また、近年は学費支払いが困難である事を理由に進学を辞退する学生も多くなっている為、特に保護者様に対して入学説明会やパンフレット等を通じ明確な学費サポート体制や学納金の総額をわかり易く伝える事に努めていく。

・今後は、グローバル化の世情と学びのニーズに対応すべく、留学生の受入体制も構築していく。

#### <特記事項>

・地域で設置されている広報室と連携しながら、対外折衝・高校への説明会・オープンキャンパス等の機械を

通じて魅力を正確に伝えられる様に計画的に活動を展開している。

- ・平成 29 年度入学者を対象として、平成 28 年度よりAO入学制度を実施していく。

(学校関係者評価委員会コメント)

- ・オープンキャンパスで介護現場を見てみる機会を企画している。その現場で、卒業生がご利用者様と接する姿をみることで高校生が興味を持てる仕組みを作っている。
- ・実際に現場をみることで、仕事に対する理解や興味を持ちやすい。また介護に対しては良いイメージがなくキツイなどの先入観を取り払うことができるためとても良いと思う。

## (8). 財務

【評価項目】	委員会評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
財務について会計監査が適正に行われているか	5
財務情報公開の体制整備はできているか	5

<現状および今後の方針>

社会的なニーズに即した学校の設置・増加に伴って、今後は更なる業務の多様化に対応した体制強化と整備が必要と考える。今後は、制度に対応した合理化、システム化の推進に取り組んでいくと共に、規模の増加に対応するための人材の育成

<特記事項>

○中長期的な財務基盤の安定について

- ・中期事業計画が策定され、当該計画は H25 年度に前倒しで完了している。
- ・生徒募集は堅調に推移し、予算も計画通り推移し財務基盤は安定している。

○予算および収支計画の有効性、妥当性について

- ・予算・収支計画については、正確かつ適正な予算編成を行うことを目的として、毎年度、学校責任者が策定し、総務部と理事で構成する予算編成会議において原案を策定している。
- ・予算執行状況が当初予算と乖離する場合、予算編成会議において補正予算の原案を策定している。
- ・策定された原案については、理事長説明を経て、理事会・評議員会において目的と有効性が審議され、有効かつ妥当なものとなっており、決算書、予算書、事業報告書に反映している。

○会計監査について

- ・私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づき、公認会計士による会計監査を受検している。また、私立学校法第37条の学校法人監事による業務監査及び関係監査を受検している。
- ・法人内部では総務部による内部監査を実施し、監事、公認会計と情報共有を行い、財務の正確性と業務執行状況について担保している。

○財務情報公開について

- ・財務情報の公開については、私立学校法に基づく体制整備している。なお、財務内容についてはW

EBで閲覧可能な状態となっている。また、事業報告書を作成し、時系列且つグラフを用いて第三者からも理解しやすい工夫を行っている。

#### (9). 法令等の遵守

【評価項目】	委員会評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	5

##### <現状および今後の方針>

・自己点検／評価は学校関係者評価委員を通じて問題点の明確な洗い出しと具体的な改善策を検討する。また、実施結果は7月を目処に学校ホームページ等を通じ評価の公開を実施していく。

##### <特記事項>

- ・法令／コンプライアンスの順守と個人情報の保護・管理の徹底に努めている。
- ・個人情報取扱の為の同意書の記入と個人情報管理の徹底の周知を職員会議等で行い、教職員の意識向上に努めている。

#### (10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	委員会評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	5
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	5

##### <現状および今後の方針>

・地域や一般の方々に向けた公開講座やイベントを企画し、学生の学びと連動する機会を設けていく。また、市町村および関連企業様との連携やボランティア活動の情報収集を強化しながら地域の活性化と貢献度の向上に繋がる教育活動を数多く行っていく。

##### <特記事項>

- ・継続して医療機関・施設へのボランティア参加などを推進し、主に就職担当者中心に実習以外での学びの場を整備していく。
- ・介護福祉科では、5施設20時間以上、ボランティア活動をするように規定を設け、生徒に奨励をしている
- ・H21年度より毎年職業訓練の委託を受けている
- ・介護に関する地域に向けての公開講座を実施。今後は2年に1回で実施を予定している。また、資格の公



開講座なども検討している。

以 上